

自転車を入れる

①左右の自転車を手で押して、空間を作ってください。

この時、移動先で他の人が使用していないことを確認して下さい。



②通常は片手で移動できます。

重たかったり、自転車が乗っていないラックの場合は、足でラックを蹴って下さい。

③前輪をラック手前に合わせ、自転車を押し上げます。

④後輪がラックに上手く乗り上げるように注意し、そのまま前進して、自転車の前輪をラックの前輪受けに入れます。



⑤前進する際にラックが左右に動いてしまうことがあります。

右図のように片方の手でサドルを持つと安定して、駐輪しやすくなります。



⑥もし後輪がラックにうまく乗り上げなかった場合、前輪をそのまま所定位置まで押し込んでから、後輪をラックに持ち上げて、正規の状態にして下さい。



ラックが右に流れちゃった



でも慌てずに前輪を入れてしましましょう



後輪を持ち上げてと。



ラックに載せてハイ、完了。

通路スペースが狭く、自転車をラックに対し一直線に出来ない場合。

ラックは軽く動くので、斜め方向から直接入れようとする逃げてしまいます。



前輪はラックに対し同一線上を向く様に、ハンドルを保持して下さい。

自転車は両手でハンドルを持つより、図の様に左手はハンドルに、右手はサドルの後ろを持つ方が安定します。

自転車を押し込みながら、前輪でラックを引く様にすれば回転して、楽に駐輪することができます。

後輪がラックに乗ってしまえば、片手でサドルを押します。前輪がしっかりポケットに入れば完了です。

自転車を取り出す

- ① 自転車を入れる時と同様、左右の自転車を移動させて空間を作ります。
- ② ハンドルが隣の自転車と絡んでいない事を確認して、サドル又は、後輪荷台等を手前に引いて下さい。



自転車を入れてから

- ① 盗難防止の為に自転車にロックをかけましょう。
前輪フォークに取り付けてあるロックも、空間があるため簡単にロックできます。
- ② チェーンロックを掛ける時は、ラックの横穴をご利用下さい。
- ③ 少し左右に動かして見て異常の無い事を確認して下さい。
- ④ スタンドは上げたままにして下さい。



注意事項

- ① 自転車を駐輪する目的以外では使用しないで下さい。
- ② 自転車に乗ったままラックに駐輪しないで下さい。
- ③ 荷物やお子様を乗せたまま駐輪しないで下さい。
- ④ ラックやレールの上で遊ばないで下さい。
- ⑤ ラックやレールの間に、荷物や自転車を放置しないで下さい。
- ⑥ レールの上に触れると靴等が汚れる場合があります。
- ⑦ 一度に多くの自転車を移動させる場合は、ゆっくりと動かして下さい。
勢いをつけると思わぬ事故が発生する恐れがあります。
- ⑧ 自転車の形状によって、計画どおりのスペースが確保できない場合があります。
組み合わせにより改善できることもありますので、ラック位置を譲り合ってください。
- ⑨ 自転車のタイヤの空気圧は常に正常にして下さい。
特に前輪の空気圧が減っていると、チューブを痛める可能性があります。
- ⑩ 自転車が起立するように、前輪は右図のように奥のケージにきちんと収めて下さい。



メンテナンスについて

スラークはメンテナンスフリーです。

ただし、ユニットカバーにぶつかる時の金属音を低減するために、クッションを貼り付けております。クッションゴムは環境により劣化しますので、金属音が気になりだしたら、貼り替えが必要です。(シールを貼る要領で簡単です)

溶融亜鉛メッキ仕様の場合は、錆にくく、また例え一部に錆が発生しても、亜鉛により錆の進行を抑えられる特徴があります。しかし長年使用し続けると、錆が回り強度低下を引き起こす恐れがありますので、錆を発見した場合は、塗装による防錆対策を実施していただくと、より長く快適に使用していただけます。

日常点検項目

- ① ラックに異常なガタつきが無いか
- ② 錆の発生が無いか
- ③ クッションゴムが劣化もしくは剥離していないか
- ④ ラックが左右に軽く動くか

上記異常が感じられた場合は、管理人様にお知らせ下さい。